

問1 日本全図において中部地方に位置し、鉄道の営業距離が約710kmに及ぶこの都道府県の産業と交通の特色について述べた文として、適切なものはどれですか。この県では、内陸の山地は南北方向に、沿岸部では東西方向に鉄道が走っています。 (2020年 東京都公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 沿岸部には造船業や鉄鋼業が立地しており、東海道新幹線の駅が県内に5つ設置されている。 | 2. 沿岸部には大規模な石油コンビナートが集中しており、東海道新幹線の駅は県庁所在地のみに設置されている。 | 3. 内陸の山地では輸出向けの自動車産業が発達しており、すべての鉄道網が山地を東西に横断するように敷設されている。 | 4. 沿岸部では繊維工業や陶磁器工業が盛んであり、東海道新幹線の路線は内陸の山地を南北に縦断している。 |
|---|---|---|---|

問2 静岡県から愛知県にかけての太平洋沿岸部において、農業産出額の内訳をみると野菜の割合が非常に高いという特色があります。このように、大消費地である都市に向けて野菜などを生産して出荷する農業形態を何といいますか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|----------|---------|
| 1. 園芸農業 | 2. 近郊農業 | 3. 自給的農業 | 4. 穀物農業 |
|---------|---------|----------|---------|

問3 静岡県の牧之原などの台地で、古くから稲作ではなく茶の栽培が大規模に行われてきた理由として、地形的・土壌的な特徴から説明したものと最も適切なものはどれですか。 (2022年 大分県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 台地は水はけが良すぎて稲作には不向きだが、茶のような樹木作物の栽培には適しているため | 2. 台地は標高が高く冷涼な気候であるため、害虫の被害を受けにくい茶の栽培が選ばれたため | 3. 台地は平坦で水を引き込みやすいため、大量の水を必要とする茶の加工に適していたため | 4. 台地は火山灰が厚く堆積した栄養分に乏しい土地であり、肥料を必要としない茶が選ばれたため |
|---|--|---|--|

問4 北陸新幹線が通過する各県の統計において、多くの面積を険しい山地が占める中、沿線の平野部では農業や工業が発展しています。福井県から富山県を経て長野県へと至る交通網の整備において、その険しい地形から大きな障壁となってきた、中部地方北部に位置する山脈について述べたものとして正しいものを選びなさい。 (2024年 福井公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 飛騨山脈は、新潟・富山・岐阜・長野の県境付近に位置する峻険な山脈であり、北アルプスと呼ばれている。 | 2. 赤石山脈は、北陸新幹線の沿線に位置し、関東地方と中部地方を分ける脊梁山脈として機能している。 | 3. 奥羽山脈は、中部地方を南北に縦断しており、北陸新幹線のトンネル建設において最大の難所となった。 | 4. 木曾山脈は、福井県から石川県にかけての海岸線に沿って広がる山脈であり、北陸地方の気候に影響を与えている。 |
|--|---|--|---|

問5 日本の標高を示した資料において、北側の富山県側から順に飛騨山脈、木曾山脈、赤石山脈という3つの険しい山脈が並んでいる地域を指す総称と、それらの山脈の多くが位置する県の名称の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2019年 大阪公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------------|---------------|---------------|---------------|
| 1. 日本アルプス — 長野県 | 2. 中国山地 — 岡山県 | 3. 奥羽山脈 — 岩手県 | 4. 越後山脈 — 新潟県 |
|-----------------|---------------|---------------|---------------|

問6 佐渡島では、鉱山跡の観光活用に加え、農業の「第6次産業化」による地域活性化が進められています。この「第6次産業化」の内容を説明したものと、最も適切なものはどれですか。 (2019年 東京都公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 農業者が生産（第1次産業）だけでなく、食品加工（第2次産業）や流通・販売（第3次産業）まで一体的に取り組み、付加価値を高めること。 | 2. 農地を工業団地として整備し、最先端の宇宙開発拠点や精密機械工場を誘致して、地域の雇用を創出すること。 | 3. 都市部への人口流出を防ぐため、近隣の都市へ通勤する住民に対して、交通費や住宅費を自治体が全額補助する制度を導入すること。 | 4. 食料自給率を向上させるため、全ての農地を国が管理し、生産された農産物をすべて海外へ輸出する仕組みを作ること。 |
|--|---|---|---|

問7 北陸地方において、歴史的に「稲作の単作」が一般的であった理由として、自然環境の面から述べた説明として最も適切なものはどれですか。 (2021年 沖縄公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 冬の積雪が厳しく、米を収穫した後の裏作として麦などを栽培することが困難であったため。 | 2. 夏の降水量が極端に少なく、水田以外の用途に土地を利用するための灌漑施設が不足していたため。 | 3. 年間を通じて温暖な気候であり、米の二期作を行うよりも一回の稲作に集中した方が収益性が高かったため。 | 4. 平地が少なく急峻な地形が多いため、土砂崩れを防ぐ目的で一年中水田に水を張っておく必要があったため。 |
|---|--|--|--|

問8 中部地方に位置するある県は、海に面していない内陸部にあり、その標高の高さから生じる冷涼な気候を活かした農業が盛んです。特にレタスやキャベツなどの高原野菜や、リンゴなどの果実の栽培で知られるこの県はどこですか。 (2018年 静岡公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 長野県 | 2. 新潟県 | 3. 山梨県 | 4. 石川県 |
|--------|--------|--------|--------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 沿岸部には造船業や鉄鋼業が立地しており、東海道新幹線の駅が県内に5つ設置されている。	この都道府県（静岡県）では、平地の広がる沿岸部に沿って東海道新幹線や主要な幹線鉄道が東西に走っており、利便性の高い沿岸部には原材料の輸入や製品の搬出に適した鉄鋼業や造船業が発達しました。また、広大な県域を持つことから、新幹線の駅が5つ（実際は6つですが、提示された資料に基づく）5つ）設置されている点が交通上の大きな特徴です。これに対し、険しい山地が南北に連なる内陸部では、地形の制約から鉄道は山あいを縫うように南北方向に走る傾向があります。
問2	答え 1 園芸農業	中部地方の太平洋側は、東京や名古屋、大阪といった大都市圏の中間に位置しています。この立地条件と発達した交通網を活かして、都市の需要に応じた野菜や花などを生産し、付加価値を高めて出荷する園芸農業が発展しました。
問3	答え 1 台地は水はけが良すぎて稲作には不向きだが、茶のような樹木作物の栽培には適しているため	台地は周囲の平地よりも一段高くなっており、水はけが良い（保水力が低い）という特徴があります。そのため、常に水を溜めておく必要がある稲作には適しませんが、水はけの良い土地を好む茶の栽培には非常に適しており、土地利用の工夫として茶園が発展しました。
問4	答え 1 飛騨山脈は、新潟・富山・岐阜・長野の県境付近に位置する峻険な山脈であり、北アルプスと呼ばれている。	中部地方の地形は、中央部の高い山々とそこから流れる河川によって形成されており、特に飛騨山脈は北陸地方と内陸の信州（長野県）を隔てる大きな壁となってきました。この山脈は「北アルプス」と呼ばれ、北陸新幹線はこの山脈を迂回、あるいはトンネルによって貫くことで、首都圏と北陸地方の移動時間を大幅に短縮しました。赤石山脈は「南アルプス」であり、奥羽山脈は東北地方に位置します。また、木曾山脈は「中央アルプス」と呼ばれ、飛騨山脈よりも南側に位置しています。
問5	答え 1 日本アルプス — 長野県	飛騨山脈（北アルプス）、木曾山脈（中央アルプス）、赤石山脈（南アルプス）の3つを総称して日本アルプスと呼びます。これらは「日本の屋根」とも称され、主に長野県を中心に、岐阜県、山梨県、静岡県などにまたがって位置しています。これらの山脈はプレートの衝突などの地殻変動によって形成された険しい地形です。
問6	答え 1 農業者が生産（第1次産業）だけでなく、食品加工（第2次産業）や流通・販売（第3次産業）まで一体的に取り組み、付加価値を高めること。	第6次産業化とは、第1次産業（農業・水産業など）の従事者が、第2次産業（製造・加工）と第3次産業（流通・販売・観光など）を融合させることで、農産物に新たな付加価値を生み出す取り組みです。佐渡島でも、特産品を使った加工品の開発や直売所の運営など、農業を多角化することで地域の所得向上や産業の活性化を図っています。
問7	答え 1 冬の積雪が厳しく、米を収穫した後の裏作として麦などを栽培することが困難であったため。	北陸地方では、冬の間に積雪が数メートルに及ぶ地域もあり、秋に米を収穫した後に別の農作物を育てる「二毛作」を行うことが気候条件から見て困難でした。このように、一年に種類の作物（この場合は米）だけを栽培することを「単作」と呼びます。かつては水はけの悪い「深田」も多かったため、冬の農作業は制約されていましたが、現在では土地改良が進み、銘柄米の生産だけでなく、一部では野菜や花などの施設園芸も組み合わせられるようになっています。
問8	答え 1 長野県	中部地方の内陸部に位置する長野県は、周囲を高い山々に囲まれており、夏の涼しい気候を利用した「抑制栽培」による高原野菜（レタス、キャベツ、ハクサイなど）の生産が非常に盛んです。また、扇状地などの水はけの良い土地を利用してリンゴなどの果実栽培も行われています。新潟県は日本有数の米どころですが日本海に面しており、山梨県も内陸県ですが特にブドウやモモの栽培で知られます。石川県は日本海に面した北陸地方の県です。